

和紙に包む——たとう紙に想いを込めて。



ハロウィーンが終わると、もう街はクリスマスモード。
パーティやプレゼントの計画に心が騒ぐ季節ですね。

クリスマスばかりでなく、
年末年始は忘年会・新年会やお歳暮・お年賀など、
人が集い、贈り物をしあう機会が多くなります。

そんな季節に、ふさわしい話題を——。



和紙繊維製品を贈り物として選んでいただく
貴重な機会を大切にしたいという想いから、
キュアテックスは、ほかにはない、
特別なラッピングにこだわっています。

それが、「たとう紙」。

「何それ?」「聞いたことがない」という方も、
もしかしたらいらっしゃるかもしれません。

たとう紙は、日本で古くから使われてきた、
貴重なものを大切に保護するために
折りたたんで包む紙のこと。

漢字では「畳紙」または「帖紙」と書き、
単に「たとう」と言ったり、
また「文庫紙」と呼ぶ地域もあるようです。

和装に親しんでいる方なら、
着物を包んでしまう保管用のパッケージとして
よくご存じでしょう。
また現代でも使われるものとしては、
のし袋や神社のお守りなども、たとう紙の仲間。
日本の紙、つまり和紙は、
丈夫で通気性がよく、優れた調湿性でカビなどを防ぎ、
日光による劣化も防ぐことから、
大切なものを保護するのに重宝されたのです。

現在のたとう紙は多くが洋紙で、
和紙のもの、とりわけハンドメイドのものは
大変稀少になってしまいました。

キュアテックスは、
和紙繊維製品の贈り物には
やはり和紙でできたたとう紙こそふさわしい、
との想いから、独自のたとう紙ラッピングを採用。

数少ない手加工の和紙たとう紙を求め、
京都の紙工会社に依頼して
オリジナルのたとう紙を製作しています。



「薄浅葱」「群青色」「苺色」など和の色が美しい
和紙繊維 100%の [あぶらとりハンカチ] は、
たとう紙に一枚一枚でいねいにパッケージされています。

小さいながらも上質な風情が感じられる、
キュアテックス自慢の逸品。

わざわざラッピングする必要がなく
そのままお渡しできるので、
パーティーや忘年会、歓送迎会などで
多くの方に手渡しするプチギフトに最適です。

また和の趣が、お年賀にもぴったり。

キュアテックスの想いをこめたたとう紙が
年末年始の大切なご挨拶に
少しでもお役に立つことを願っています。